

令和4年度 吉川市立旭小学校 学校公開用

この学校評価は、学校の現状やこれまでの努力とその結果を公表し、家庭・地域にお知らせするとともに、今後の取り組みに向けて家庭・地域の理解や連携協力をお願いするものです。

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての 評価の説明及び学校の考え	学校関係 者評価	評価に対する学校の説明・考察
1	学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	A	「時を守り、場を清め、礼を尽くす・凡事徹底」を合言葉とし、目標達成に向けて6つの重点課題の達成目標の基準を引き上げ、職員の総力によって活動の充実に努めており、その成果が表れている。引き続き職員が当事者意識をもって取り組みを継続、推進するよう努めていく。	A	「時を守り、場を清め、礼をつくす・凡事徹底」を合言葉とし、全校職員が当事者意識をもち学校教育目標の実現に取り組んでいる。次年度も、職員の当事者意識を高め、工夫した教育活動に取り組んでいく。
2	学校は、児童生徒の学習環境の整備に努めている。	A	タブレットやデジタル教科書等のICTや具体物等、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた導入の工夫や話し合い活動を授業に取り入れ、できる・分かる授業を実施している。教室や廊下、トイレを清潔に保つ取り組みや指導の継続により、快適な環境で学習、生活を送れるよう設備の維持、管理に努めていく。	A	ICTを活用し、まなびポケットなど家庭学習にも取り入れ、学習環境の整備に努めていた。児童の怪我や備品等の破損などがあると、すぐに対応して安心できる。今後も安心・安全な環境で児童に学ぶ喜びを味わわせていく。
3	校長を中心として、全職員が協力して児童生徒のために努力している。	A	校長の経営方針を一人一人が理解し、職員が当事者意識をもって自分の目標達成に向けた具体的な方策を実施するとともに、報告・連絡・相談・確認・記録の徹底や管理職の教室訪問による指導・助言により、職員が一人一人としてキーワード「よい子」の育成に努めた。今後も取り組みを継続していく。	A	校長の学校経営方針を教職員一人一人が理解し、子ども達の指導に当たっている。報告・連絡・相談・確認・記録が徹底しており、情報共有・発信も積極的に行っている。今後も職員が一人一人として、児童の教育に取り組んでいく。
4	学校は、保護者や地域に学校行事や授業を公開している。	A	コロナ禍による制限はあるが、感染症拡大防止に努めつつ授業参観や学校公開を実施し、学校の教育活動の内容や子ども達の活躍の様子を保護者や地域の方に見ていただき、子ども達の成長と共に喜ぶことができた。今後も社会情勢や感染状況を注視しつつ公開に努めていく。	A	土曜日の学校公開や授業参観を3～4日間で実施しているため、兄弟姉妹がいても授業をたくさん見ることができ、今後も子供が活躍する姿をたくさん見ていただき、学校・家庭・地域の連携を高めていく。
5	学校は、学校の様子や成果を「学校だより・学年だより」等を活用し、情報提供している。	A	学校便りやホームページの積極的な運用、ホーム&スクールでのメールの適宜配信により、積極的に経営方針や日々の教育活動、子ども達の活躍の様子について情報発信した。保護者や地域の方からの喜びの声や協力の声を出さるよう努めた。連携を強めることができた。今後も継続して情報提供に努めていく。	A	学校だよりやホームページ、アプリ配信を通じて、学校の教育方針や学習・行事での児童の活躍の様子を定期的に情報提供するよう努めていた。今後も継続して積極的に情報発信・共有を行っていく。
6	学校は、保護者や地域からの相談や要望に応えている。	A	保護者からの相談や要望を管理職と職員がいち早く共有し、誠実をもって早期対応に努めた。子ども達の安心・安全や学びを第一に考え、誠意をもって対応を続けることで、問題の改善に努めることができた。今後も、子どもや保護者との信頼関係を高める努力を継続し、一層の早期発見、早期対応に努めていく。	A	いつもスムーズにどんな小さなことでも親身になって対応している。保護者とのつながりを密にして、小規模校での強みを生かし、相談や要望に応えていた。今後も学校・家庭・地域の連携を密にして、教育活動の充実を図りたい。
7	児童生徒は、落ち着いた学習に取り組む、学習内容を理解しようとしている。	A	今年度も「時を守り、場を清め、礼を尽くす・凡事徹底」を合言葉に全職員が子どもが落ち着いた学習に取り組める指導や学習環境づくりに努めた。個別に応じた指導や声かけについても情報を共有し、共通理解・共通行動を図ることで、組織力を生かして学習環境の整備や学力向上に努めていく。	A	子ども達が落ち着いた学習に取り組めるように、学校内がいずれも整備されていた。時々、集団での学習が大変そうに見える児童がいた。教員が子供一人一人に寄り添い、個に応じた指導をさらに充実し、できる・分かる授業づくりの研究を行っていく。
8	学校は、教材や指導方法を工夫し、児童生徒にわかりやすい授業を心がけている。	A	ユニバーサルデザインの視点を大切にした教材教員の工夫・改善、ICTの活用、発問について研究授業や事前の模擬授業により研究し、「できる」「分かる」授業の実践に向けて、全職員で指導力向上に努めている。働き方改革を推進しつつ、授業改善による学力向上に継続して努めていく。	A	ユニバーサルデザインや一人一台端末の有効活用を図ることで、わかる、できる授業づくりに取り組み、理解力の上昇に努めていた。今後も、ICTのより有効な活用や環境整備の研究・実施に努めていく。
9	学校は、児童生徒の行動や能力を適切に評価している。	A	小規模校の強みを生かし、一人一人の特性や伸びを職員が共有し、複数の教員の視点で児童を多面的に見て、個別の声かけや指導を行い適切な評価に努めている。今後も、評価基準や重点課題の視点を全職員で確認・共有し、児童一人一人のよさを認め、伸ばす評価の実施に努めていく。	A	運動会等の行事で、先生方も非常に熱心に取り組まれ、子ども達も生き生きと活動する様子が見られた。児童一人一人の良さを認め、自己肯定感を高める指導・評価を行っていた。今後も、小規模校の強みを生かし褒めて伸ばす評価を実施していく。
10	児童生徒は、進んであいさつをしたり正しい言葉づかいをしたりすることができる。	A	コロナ禍により発声や制限された期間があり、あいさつ習慣の再定着を図っている。人との距離や場面に応じたあいさつ、声の大きさに留意し、進んであいさつできる児童を増やすため、日々の指導や小中一貫教育推進の取組である中学生が来校してのあいさつ運動を実施している。今後も状況を確認しつつ取り組んでいく。	A	登下校の場面も含め、地域と連携し、あいさつ・言葉づかいの指導を進めていた。ただ、学校内でのあいさつに比べると、地域の方へのあいさつが少なく感じる。地域の方と接する機会を生かし、自然にあいさつが交わされるように指導していく。
11	児童生徒は、学習のルールや生活の決まりを守ることができる。	A	学校での学習の取り組み方や生活の仕方について、年度当初に全職員で確認するとともに、月々の生活目標を意識した行動の指導や奨励により、良い姿勢で学習に取り組むことのできる児童が多く、決まりを守ろうという気持ちが高まっている。個に応じた指導も全職員で確認・継続し、規範意識を一層高めるよう努めていく。	A	授業中はもとより、学校生活全体で落ち着いた行動がとれていた。ただ、場面によって指導が大変そうな児童もいた。全職員で児童に寄り添った指導を行い、家庭とも連携してルールや決まりを守る大切さや規範意識を高めていく。
12	児童生徒は、時間を守ることができる。	A	小中一貫教育推進の取組「二分前着席」を全校で実施し、授業の開始時刻には多くの児童が席に着き、落ち着いた雰囲気での学習を開始することができる。6つの重点課題に「時を守る」が示されており、職員が率先して時を守る姿勢を見せることで、児童一人一人の時間を守る意識や行動を高め、さらなる徹底に努めていく。	A	授業の開始が守られ、子ども達は時計を見ながら生活できていた。今後も、小中一貫教育で進めている2分前着席や時計を見て行動する大切さの指導を継続して行っていく。
13	学校は、規範意識を高めるための指導に取り組んでいる。	A	4月に旭小の生活の約束や昨年度の反省を生かした共通理解事項の確認を行い、発達段階を考慮した具体的・継続的な指導を実施することにより、児童の規範意識が高まっている。学習規律や無言清掃、廊下歩行のさらなる向上を図るため、全職員による共通理解・共通指導を重視し、指導の徹底に努めていく。	A	道徳や学級活動を通して、規範意識を高める指導を行っており、児童が落ち着いた学校生活を送っていた。今後も、全職員による共通理解・共通指導を重視し、規範意識を高める指導の徹底を図っていく。
14	児童生徒は、体育の授業や部活動又は外遊びに意欲的に取り組んでいる。	A	コロナ禍で活動が制限される中、感染症や熱中症予防等の安全配慮を十分行いつつ、外遊びの奨励や3分間縄跳び、体育でのスモールステップによるできる喜びや運動する楽しさを味わえる授業づくりに努めた。今後も感染症拡大の状況を注視しつつ活動内容のさらなる工夫・改善に努めていく。	A	体育の授業はもとより、運動会や体力テストに意欲的に取り組んでいた。天気の良い休日に元気いっぱい外遊びをしている姿を見ることができ、コロナ禍後を見据え、更なる教育活動の再開や外遊びの奨励を検討していく。
15	児童生徒が、健康な生活を送れるよう食育に取り組んでいる。	A	学校給食センターの見学や学校栄養職員によるバランスのとれた食事に関する食育授業を通して、日々の食事や給食に含まれる栄養や調理の工夫、給食に携わる方の愛情を学んだ。アレルギー対応や好き嫌いに対応しつつ給食完全週間を実施し、バランスのとれた食事をとる大切さに気付かせ、健康の保持増進を図った。	A	食育の授業を実施し、栄養素について学ぶ機会を設けて進んでいた。給食週間の完全食を目指す取り組みや家庭と連携した元気カードの活用も良い。今後も、家庭との連携強化を図り、子ども達の健康な心と体を育てたい。
16	学校は、児童生徒の健康・安全や体力向上に向けた取り組みを行っている。	A	健康・安全を第一に体調チェックや換気、消毒の徹底、家庭・地域と連携した安心・安全な環境づくりに努めた。3分間縄跳びや新体力テストの課題である投力を高める動きを授業で行い体力向上に努めている。運動習慣の二極化がみられるため、運動する楽しさやできる喜びを味わえる授業や活動のさらなる充実を図っていく。	A	毎学期の避難訓練や日々の登下校を通じて、安全についての指導を実施していた。今後も日々の体調チェックや換気・消毒作業の徹底、体力向上に向けた授業や体力アップカードの活用をおとして、健康維持や体力向上に取り組んでいく。
17	学校は、児童生徒の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切にしている。	A	日々の登校指導や教室訪問、職員からの報告・連絡・相談・確認・記録の徹底により、学習や生活の様子、会話の内容を把握するとともに、積極的な生徒指導による着目の指導に努めている。保護者の要望等についても、担任と管理職が情報を共有して早期対応を行い、安心して通える学校づくりに努めている。	A	児童へのアンケートなどから、児童の悩みに寄り添い、丁寧に指導していた。熱心に一人一人の立場になって考えてくれている。今後も、誠意をもって児童を大切にしたい指導を行っていく。
18	学校は、いじめや不登校をなくすため、児童生徒への指導の充実を図っている。	A	生徒指導・教育相談部会や生活アンケートにより、全職員がいじめや不登校につながる些細な発言や行動を見逃さないよう努め、未然防止のための共通理解、共通行動に取り組んでいる。児童、保護者はもちろん、スクールカウンセラーや相談員、関係機関とも連携し、管理職を含めた職員が早期対応・解決に努めている。	A	いじめ、不登校に対しては、一人一人に対して丁寧に指導していた。今後も全職員がいじめや不登校につながる些細な発言や行動を見逃さないよう努め、未然防止のための共通理解、共通行動に取り組んでいく。